

女性の膣について

成熟した健康な女性の膣は乳酸菌を含んだヨーグルト状の分泌物で被われています。これは女性ホルモンの働きによるものですが、この分泌物には感染に対する抵抗力が備わっていて粘膜を保護しています。その上に、女性の性的な気分が高まると、膣からは特別な水分が泉のように湧いてきます。これを膣潤滑液といいます（愛液という人もいますね）。これは骨盤内の血流が増えるため、膣が汗をかくような感じです。

閉経後の膣の変化

閉経して女性ホルモンが不足すると、乳酸菌もヨーグルト状の分泌物も失われ、膣は乾燥した感じになります。また膣粘膜は薄くなるため、性的な気分になつてもうるおわなくなってしまいます。そんな状態でセックスをすると、痛みを感じたり、粘膜を傷つけたり、出血することがあります。



うるおいを補うこと=性生活の充実 / リューブゼリーの目的

閉経後の性生活には、うるおいの補充がとても大切なことと言えます。リューブゼリーは、このうるおいを目的につくられた水溶液です。リューブゼリーは女性ホルモンを使えない方でも使用できます。

若い女性にもうるおい不足があります。

若い女性でも、緊張するとセックスの時のうるおいが不足して、痛みを感じることがあります。くり返すと不安が高まって、「いつも痛い」ということにもなりかねません。痛みを我慢してセックスすることは、その後の豊かな性を損なう原因をつくります。どうして痛いのか、相談し、うるおうように工夫することも大事ですが、ゼリーを使ってみるのもよい方法です。